

温室効果ガス削減の目標

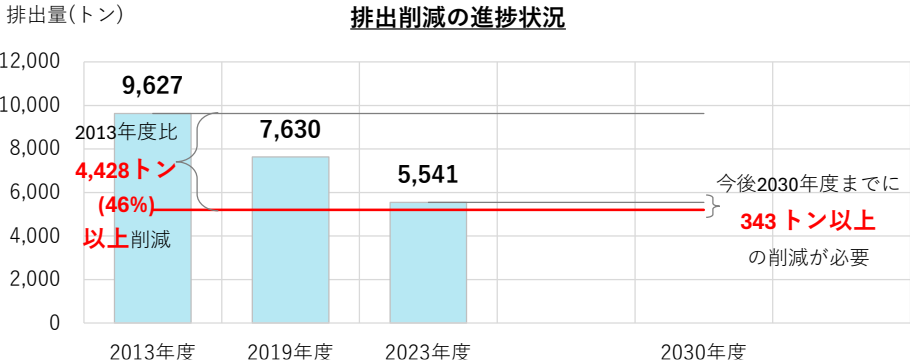
	削減目標（政府目標値）
2030年度	2013年度比 46%（4,428トン）以上
2050年度	カーボンニュートラル

温室効果ガス排出量の推移

広島空港の2023年度の温室効果ガス排出量は、2019年度比2,089トン減少の5,541トンである。
2030年度の削減目標（2013年度比46%以上の削減）の達成には、今後343トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)		
	2013年度	2019年度	2023年度
空港施設	9,155	7,221	5,150
空港車両	472	410	392
計	9,627	7,630	5,541

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数・・・2013年度：0.672、2019年度：0.636、2023年度：0.551

2019年度～2023年度の温室効果ガス排出量の増減背景

広島空港では、建築施設が増加しているが、2023年度の航空機の運航回数や旅客数はコロナ禍前(2019年度)の9割弱程度に留まっており、主に契約されている電力会社の排出係数も低下している。さらに脱炭素化施策の取組が行われていることを背景に、温室効果ガス排出量は2019年度に比べて減少した。

脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	➢ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用の取組が行われた。 ➢ 航空灯火、エプロン照明灯、駐車場街灯のLED化が行われた。
空港車両に係る取組	➢ 電動車への更新が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	➢ 2023年11月にソーラーカーポートが設置・開始された。
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)